

授業科目名	精神保健看護学臨地実習		担当教員	◎中島洋一、松丸直美、 松谷典洋、田中美恵子	科目ナンバリング NS371
必修	開講年次：3年後期	単位：2単位	授業形態：臨地実習90時間		

【授業概要】

健康な人々の精神衛生看護と、精神科的疾患を持つ人々の看護の両方を対象とする。精神疾患や精神障害を持つ人が社会に参加しながら、自分らしく生活するための支援体制の一環として、看護職が社会的責務を果たすために必要な知識と技術を修得する。精神保健看護の臨地実習を行なう。実習施設は、病院の精神科病棟、老人施設(認知症棟)、生活訓練施設などを利用する。

【達成目標】

1. 精神の構造と機能を理解し、健康レベルと障害との関連や精神の不健康状態について把握する。
2. 精神看護の基本概念や精神医学の診断、治療を理解し、看護援助できる能力を養う。
 - A. 精神の発達や健康障害について、看護学とその関連領域の概念枠組みを用い理解する。
 - B. 精神の健康障害や、精神症状によって影響された患者の状態をアセスメントし、看護援助を計画、実施できる能力を身につける。
 - C. 精神の健康障害の診断と、その治療法についての知識をもち、看護援助が展開できる能力を身につける。
3. 精神障害者の人権を守り、地域生活を支えていくための援助方法についての理解を養う。
 - A. 精神医療看護の歴史を知り、精神障害者の人権尊重と精神保健医療看護を展開していく看護師の役割や倫理的配慮についての知識を獲得する。
 - B. 精神の健康上の問題を持つ人が、地域で生活していくために必要な援助とそれを支えるシステムについて理解する。

【履修条件】

「基礎看護学臨地実習Ⅰ・基礎看護学臨地実習Ⅱ」、「精神保健看護学概論」「精神保健看護援助論」を修得していること。

【授業計画】

実習1日目	病院・施設概要オリエンテーション、受け持ち患者情報収集
実習2日目～7日目	病院実習 ー受け持ち患者を通して看護を実践ー
実習8・9日目	生活訓練施設、地域活動支援センター、就労移行・就労継続支援施設 体験実習
実習10日	実習の振り返り、まとめ、面接評価

【教科書】

指定なし

【参考書】

1. 太田保之(2014)学生のための精神医学、医歯薬出版株式会社
2. 田中美恵子(2015) 精神看護学、医歯薬出版株式会社
3. 田中美恵子(2009) 精神障害者の退院支援計画と地域支援、医歯薬出版
4. 谷中輝雄 小宮敬子他編集(2000) 障害者・精神保健地域看護活動、医学書院
5. 萱間真美(2020) 精神科訪問看護テキスト、中央法規出版
6. 宮本真巳編集(2014) 援助技法としてのプロセスレコード 精神看護出版

【評価方法・評価基準】

実習目標への到達度による評価(80%)、課題レポート(20%)

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：精神保健看護学概論、精神保健看護学援助論などの学びを振り返りまとめる。

事後学習：日々の実習終了後に各自の学びを振り返り記述する。実習全般での学びを振り返り課題レポートとして記述する。

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅲ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅴ. 多職種から成り立つ医療チームにおけるコミュニケーションとコラボレーション能力、Ⅵ. ヘルスプロモーションと予防に関する知識と実践能力、Ⅸ. あらゆる対象に向けた包括的な看護実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

実習に関わる記録については4年次前期(4月中)に学生個人に返却する(掲示により連絡)。

【備考】

- ・精神保健看護学概論、精神保健看護援助論について理解を深めておくこと。
- ・看護師としての5年以上の臨床経験を持つ教員が臨地実習を指導する。
- ・遠隔授業にて実習を実施する場合は追って連絡する。